

タチホマレ 「タチナガハ」の欠点を改良し、ダイズモザイク病に抵抗性で、成熟後の枯れ上がりが斉一な品種。

1 特徴

- ・褐斑病の原因となるダイズモザイク病に抵抗性で、成熟後の枯れ上がりが斉一な品種です。
- ・耐倒伏性が「タチナガハ」並に強く、無培土栽培や狭畦密植栽培に適しています。
- ・「タチナガハ」に比べると粒重はやや軽いものの、蛋白質含有量がやや高く、豆腐加工適性も改善されています。味噌原料にもよく適しています。

品種名	成熟期 (月日)	倒伏	ウ	莢先	主茎 (cm)	分子数	子実重 (kg/a)	子実重の 比率(%)	百粒重 (g)	品質	蛋白質 (%)	豆腐の 硬さ (g/cm ²)
タチホマレ	10.15	無	無	無	59	6.7	41.8	108	35.7	上下	43.8	64
タチナガハ	10.16	無	微	微	64	5.9	38.2	100	39.7	中上	41.6	51

注) 平成13～15年の平均値(標準栽培)

豆腐は実需者の加工試験(原料：平成16年産、充填豆腐、凝固剤：塩化マグネシウム)

2 栽培地域(平成21年産)

— ha

育成場所：長野県野菜花き試験場(平成18年育成)
 問い合わせ先：長野県野菜花き試験場・畑作育種部
 tel：0263-52-1148、fax：0263-54-4508

